

# 第33回 市民福祉講座

人生80年時代を迎え、社会環境も家庭環境もさまざまに変化しています。人は人との関わりの中で、一喜一憂しながら、さまざまな価値観をもって生きています。どう生きるかを問う意味で、

「一人ひとりが輝いて生きる」

をテーマに開催します

赤穂市総合福祉会館3階集会室  
3回シリーズ

受講料 1,000円

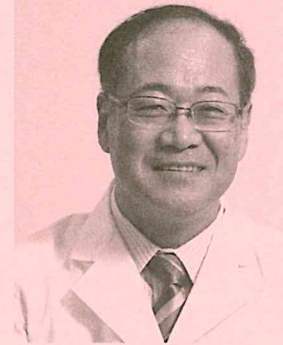
No.1  
7/15 [土]  
午後1時30分～  
3時30分

## 「認知症への正しい理解と効果的な予防」

鳥取大学医学部教授 浦上 克哉 氏

鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座・環境保健学分野教授。専門分野は脳神経疾患・認知症(アルツハイマー病)。1980年代より認知症の研究に取り組み、現在ではNHK等の認知症特集番組にも専門家として登場する、日本を代表する認知症研究者。また、認知症早期発見のためのタッチパネル式コンピューター「物忘れ相談プログラム」などの機器を開発、アロマによる認知症の予防効果の研究、テレビにも多数出演し、幅広く精力的に啓発活動を行っている。

日本認知症予防学会理事長、日本老年精神医学会理事、日本認知症学会専門医



## 「無縁社会とどう向き合うか」 ～地域における見守りと支えあい活動の大切さ～

NHKスペシャル プロデューサー 板垣 淑子 氏

平成6年NHK入局。報道局制作センター、仙台局、報道局社会番組部などを経て、大型企画開発センター所属。これまでの主な担当番組は、NHKスペシャル「ワーキングプア～働いても働いても豊かになれない～(平成18年)」でギャラクシー賞大賞受賞。NHKスペシャル「無縁社会～“無縁死”3万2千人の衝撃～(平成22年)」で菊池寛賞を受賞。NHKスペシャル「終の住処はどこに～老人漂流社会～(平成24年)」などを制作。平成27年には放送文化基金賞個人賞を受賞。

No.2  
7/22 [土]  
午後1時30分～  
3時30分

No.3  
7/29 [土]  
午後1時30分～  
3時30分

## 「地域と希望」 ～繋がり大切さ～

東京大学社会科学研究所教授 玄田 有史 氏

東京大学社会科学研究所教授、博士(経済学)。専攻は労働経済学。東京大学経済学部卒業。同大学院経済学研究科第Ⅱ種博士課程退学。ハーバード大学客員研究員、オックスフォード大学客員研究員、学習院大学経済学部教授を経て現職。

主な著書に「仕事のなかの曖昧な不安～揺れる若年の現在」(中央公論新社、サントリー学芸賞、日経・経済図書文化賞)、「ジョブ・クリエイション」(日本経済新聞社、労働関係図書優秀賞、エコノミスト賞)、「希望のつくり方」(岩波新書)、「増補改訂 14歳からの仕事道」(イーストプレス)、「孤立無業(SNEP)」(日本経済新聞社)など。



主催/赤穂市社会福祉協議会

後援/赤穂市・赤穂市教育委員会・赤穂市自治会連合会・赤穂市民生委員児童委員協議会・関西福祉大学

参加希望者は、申込書に受講料を添えて、赤穂市社会福祉協議会(総合福祉会館内 赤穂市中広267 〒678-0232 電話42-1397)または中央公民館・各地区公民館・市社会福祉課・関西福祉大学へ7月10日(月)までに申込下さい。参加券の郵送をご希望の場合は、参加費に82円切手を貼付した返信用封筒(宛名・住所・郵便番号を明記)を同封して赤穂市社会福祉協議会へ送付してください。

キリトリ

氏名	年齢	性別	住所	TEL	参加券番号
市民福祉講座 申込書		男 女	赤穂市	( )	